

中央浄化センター増設事業の実施について（報告）

1. 目的

本市のし尿及び浄化槽汚泥の処理を行っている伊賀南部浄化センターは、施設の供用開始から30年以上が経過し、老朽化が進んでいます。さらには、公共下水道の整備や、人口減少により、し尿及び浄化槽汚泥の発生量が大きく減少することが予測されるため、効率的な運営が必要となります。将来にわたって効率的で安定した生活排水処理が行えるよう広域的かつ一元的に処理を行い、スケールメリットによる財政状況の改善や汚泥処理の持続可能性の確保等について、中央浄化センターの施設を基幹として共同で処理を行う生活排水処理施設の施設整備を「下水道広域化推進総合事業」により進めることとしています。

また、同時に令和2年4月に事業認可を取得した下水道区域の拡大整備（美旗地域）に伴い、中央処理区下水道整備事業として中央浄化センターの水処理施設を増設するものです。

2. 実施場所 中央浄化センター敷地内（蔵持町里地内）

3. 事業概要

①下水道広域化推進総合事業（旧MICS事業）による生活排水処理施設

市内の生活排水処理（公共下水道・農業集落排水・浄化槽・し尿）を集めて、共同で処理（一元化）する施設として、前処理施設と汚泥処理施設を統合した施設です。

【生活排水処理施設】

構造・規模：鉄筋コンクリート造 地下2階、地上3階
面積：701.10㎡
計画し尿量：日平均18.4m³/日、日最大72.0m³/日
計画汚泥量：307m³
建設費：約32億円（土木、建築、機械、電気 一式）

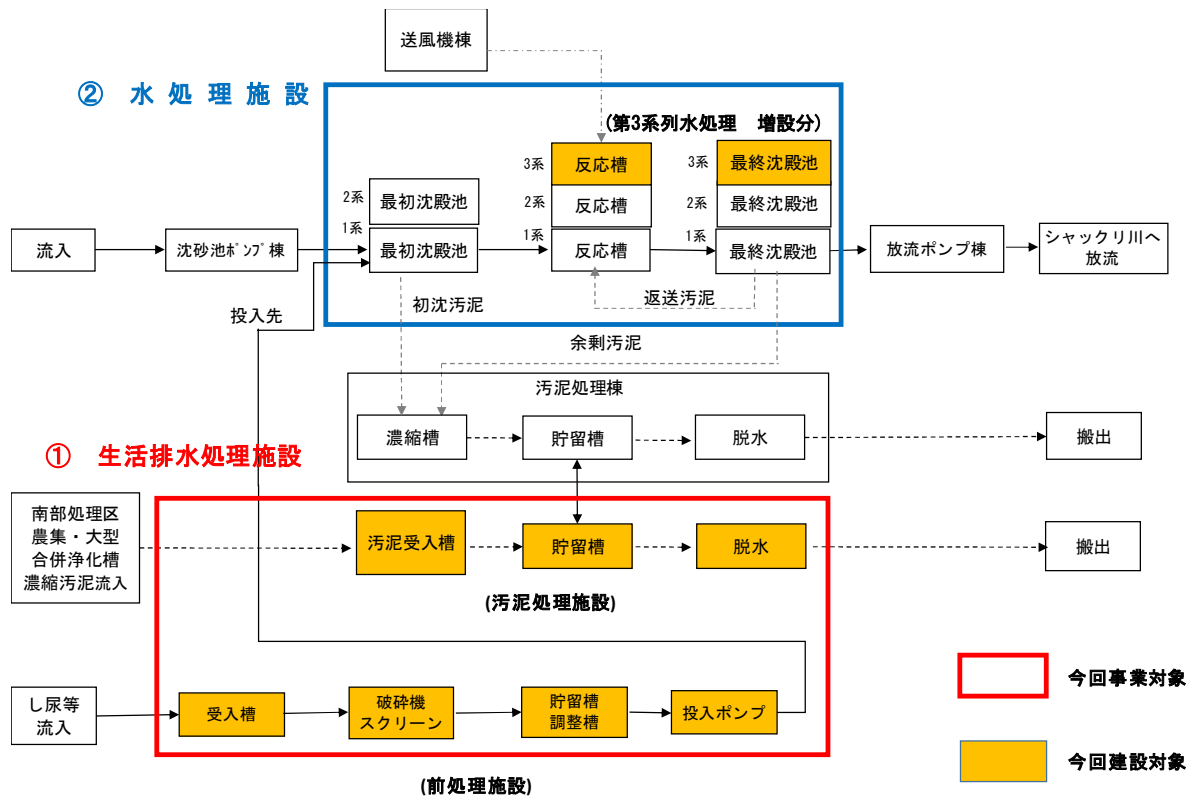
②中央処理区下水道整備事業における水処理施設増設

現在、中央浄化センター内では3分の2の施設整備を終えて供用運転をしており、整備計画による美旗地域の事業区域拡大に係る第3系水処理施設の生物反応槽及び最終沈殿池の増設を行います。

【第3系水処理施設】

構造・規模：鉄筋コンクリート造 地下1階、地上1階
面積：1690.77㎡
計画汚水量：6,400m³（全体汚水量 19,000m³）
建設費：約20億円（土木、建築、機械、電気 一式）

4. 処理施設フロー図

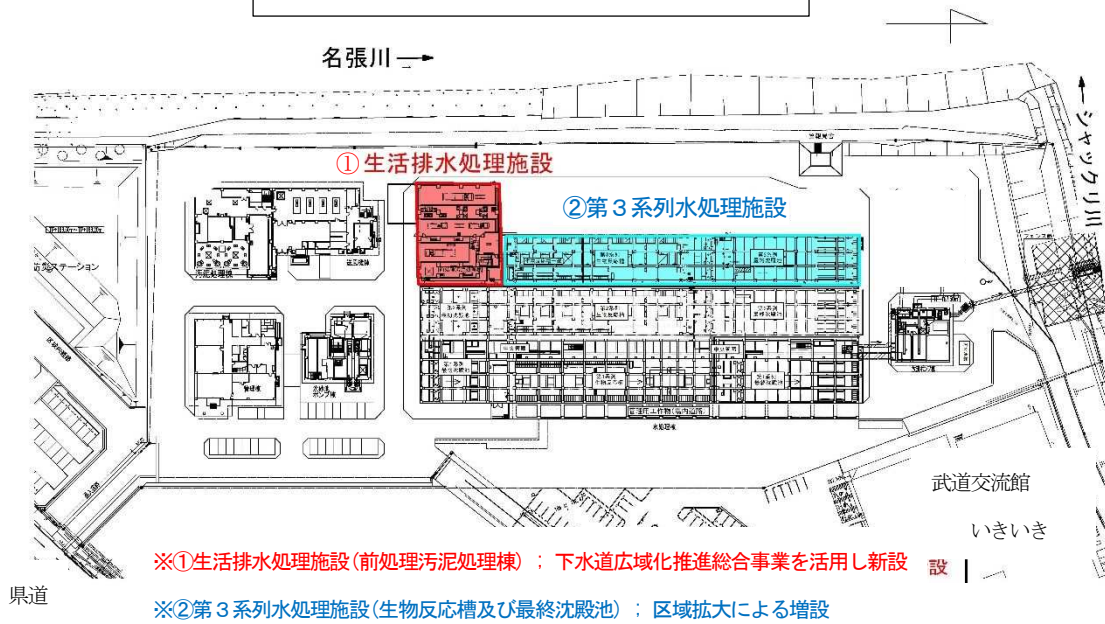


5. 事業スケジュール

【全体事業スケジュール】

中央処理区下水道事業		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
処理施設整備	①下水道広域化推進総合事業による生活排水処理施設建設	先行工事(土木工事)	→				
		前処理・汚泥処理棟及び反応槽の一部(土木・建築・機械・電気)		土木・建築(契約済)	機械・電気		
		試運転及び供用前準備				完成	供用開始
	②中央処理区における第3系水処理施設増設	反応槽の一部(土木・建築)		土木・建築(契約済)	土木・建築		
		最終沈殿池(土木・建築・機械・電気)				土木・建築	機械・電気
		試運転及び供用前準備					

中央浄化センター内 一般計画平面図



かん 鳥瞰図



